

## 式辞

例年以上にたくさん降った雪も溶け、ようやく暖かい風が吹くようになり、草や木が色づいてきました。

日頃より本校に対し、多くの御支援をいただいております御来賓の皆様、そして保護者の皆様の御臨席をいただき、本日、平成二十六年入学式をとりおこなうことができ、ことに感謝申し上げます。

さて、新入生の小学部三名、中学部七名、高等部六名のみなさん。釜石祥雲支援学校への入学おめでとうございます。みなさんが入学されることを在校生の先輩たちや、先生方も大変心待ちにしておりました。みなさんの顔をこうして拝見しますとそれぞれ光り輝いて見えます。野山の生き物や桜の花もみなさんの入学をお祝いしてくれていることでしょう。

小学部に入學するみなさんは、初めての学校生活で

すね。これまでは友達と遊ぶときでもお家の方に片手をつないでいただいていたことが多かったと思いますが、これからは両手を放して勉強に取り組まなければなりません。でも、今度は友達が両手をつかんで力を貸してくれるので安心ですよ。

中学部に入學するみなさんは、小学部の時よりも人数が少なくなりますが、より仲間と協力し合い、お互いの良さを生かして力をつけて、どのような勉強でも最後までやり抜く力を身につけてくれるはずですよ。

高等部に入學するみなさんは、校外での実習や大会への参加などにより、学校より広い社会の中で自分らしく、楽しく、自立して生活していく力をつけてもらいます。苦しいことがあっても乗り越えて、卒業後も高校時代にがんばったことを思い出し、さらになんばついでける人を目指してください。

保護者の皆様、本校を代表してお子様の御入學を

心からお祝い申し上げます。本校は「一人一人の力を最大限に伸張り、心豊かに、生き生きと生活できる人間を育てる」ことを教育目標とし、職員一同努力を重ねる所存です。学校生活でのお子様の努力が、将来、必ず生きる力となるように、保護者の皆様や関係機関の方々にはこれまで以上に御理解と御協力をお願いいたします。

最後に、新入生のみなさんが、これから学校での勉強をしっかりと身につけて、校訓のとおり未来への「希望」をふくらませ、体も心も「健康」に、「自立」した生活ができるように力をつけてくれることを願い、式辞といたします。

平成二十六年 四月 八日

岩手県立釜石祥雲支援学校

校長 佐々木 徹